

① 基本 体系 事項	計画コード	事業名				部名	市民部	
	19039	地域づくり支援事業				室名	市民相談協働室	
	基本施策の大綱	02 市民参画・協働と地域づくりの推進				財務 科目 目	会計	01 一般会計（政策予算）
	基本施策	01 分権自治の推進					款	02 総務費
	施策	02 地域内分権のしくみづくり					項	01 総務管理費
	施策項目						目	01 一般管理費
事業予定期間	16	～	23	年度	事業の全期間		財務科目番号はH21年度予算による	
主要事業期間	19	～	23	年度	前期基本計画の期間（H19～H23年度）		国県等からの補助金	なし

② 事業 の 概 要	事業概要	地方分権型社会における地域自治組織モデルとして、地域住民らが主体となって、これからの地域のあり方を検討・具現化等を行う地域活動を支援し、市内全域に広げる。 補助率 10 / 10 補助限度額 500万円以内(4年間) ※ 他の補助事業となっている事業は、除く。 ※ 食糧費は、補助対象から除く。					実施 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 直営業務系、市が設計した工事等
	目的	対象 地域住民 自主・自立的で魅力のある地域づくり活動を展開するため、地域における自主的なまちづくり活動を行う団体に対し補助金を交付することにより、地域住民一人ひとりが生きがいをもち、地域の輝きが生まれるような、個性的で魅力溢れる地域づくりを推進することを目的とする。						<input type="checkbox"/> 全部委託 指定管理者制度
	主な根拠法令要綱等	亀山市補助金等交付規則						<input type="checkbox"/> 一部委託 委託サービス業務、設計委託した工事
	主な関連事業名	市民まちづくり基金						<input type="checkbox"/> その他 企業タイアップ、
						<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 補助・助成の実施	法的義務性	任意

		年度別計画	年度別実績
③ 事業 の 計 画 ・ 実 績	2 2 年度	地域づくり支援補助金 ■継続：屋生・井田川北・井田川南・川崎 … 4地域 ■新規：2地域	■継続：屋生・井田川北・井田川南・川崎 … 4地域 屋生地区まちづくり実行委員会活動補助金 1,425千円 （金王道再生事業、里山公園再興事業、伝統芸能保存事業、地産地消事業） 北東部まちづくり実行委員会活動補助金 895千円 （地域交通調査、通学路点検、峯城跡環境整備、東海道案内看板、井田川駅前放置自転車撤去） ■新規：なし
	2 3 年度	地域づくり支援補助金 ■継続：屋生・井田川北・井田川南・川崎＋平成22年度 新規地域（2地域） … 6地域 ■新規：2地域	

④ 変 更 履 歴 （ 事 務 局 使 用 欄 ）	計画の庁内承認									
	H	21	年	12	月	25	日			
	変更の庁内承認				主な変更点					
	H	年	月	日	<input type="checkbox"/> 事業内容	<input type="checkbox"/> 事業費変更	特記			
					<input type="checkbox"/> 時期変更	<input type="checkbox"/> その他				
H	年	月	日	<input type="checkbox"/> 事業内容	<input type="checkbox"/> 事業費変更	特記				
				<input type="checkbox"/> 時期変更	<input type="checkbox"/> その他					
H	年	月	日	<input type="checkbox"/> 事業内容	<input type="checkbox"/> 事業費変更	特記				
				<input type="checkbox"/> 時期変更	<input type="checkbox"/> その他					
H	年	月	日	<input type="checkbox"/> 事業内容	<input type="checkbox"/> 事業費変更	特記				
				<input type="checkbox"/> 時期変更	<input type="checkbox"/> その他					

⑤ 全期間総事業費	総合計画	基本計画 実施計画	前期 (H19~H23年度)		後期 (H24~H28年度)	総合計画期間の 事業費計
			第1次 (19~21)	第2次 (22~23)		
事業費	計画額	千円	10,140	11,780		21,920
	国・県支出金 [(J)+(K)]					
	地方債					
	その他(財産収入)		4,140	11,780		15,920
	一般財源		6,000			6,000
	予算額	千円	6,190	8,275		14,465
	国・県支出金 [(J)+(K)]					
	地方債					
	その他(財産収入)		2,150	7,595		9,745
	一般財源		4,040	680		4,720
	決算額	千円	5,898	2,320		8,218
	国・県支出金 [(J)+(K)]					
	地方債					
	その他(財産収入)		1,962	2,320		4,282
一般財源	3,936				3,936	

金額は千円単位、百円の位を切上げ。

⑥ 年度毎事業費	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
国庫支出金 (J)				
県支出金 (K)				
地方債				
その他(財産収入)	4,140	4,640	7,140	
一般財源				
予算額 (補正があれば、補正後予算額)	2,150	3,435	4,840	
国庫支出金 (J)				
県支出金 (K)				
地方債				
その他(財産収入)	2,150	3,435	4,160	
一般財源			680	
(予算額内訳) 翌年度への繰越額				
決算額 (A)	1,962	2,320		
国庫支出金 (J)				
県支出金 (K)				
地方債				
その他(財産収入)	1,962	2,320		
一般財源				
(決算額内訳) 当年度への繰越額				
総人件費 [(D)+(E)] (B)	千円 770	1,155		
一般職員所要人員 (C)	人/年 0.10	0.15		
一般人件費 [平均給与×(C)] (D)	千円 770	1,155		
臨時職員人件費 (E)				
総コスト [(A)+(B)] (F)	千円 2,732	3,475		
受益者負担額 (G)	千円			
受益者負担率 [(G)/(F)] (H)	%			

⑦ 指標	活動指標	名称	活動に対して支援をする地域数	計画値	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
					1次	計画値	5	6
1次	実績値	4	4					
1次	単位	地域	地域	地域	地域			
2次	計画値							
2次	実績値							
2次	単位							
1次	1次	名称	活動を展開する地域数	計画値	7	8	10	
1次	1次	補足		実績値	6	4		
1次	1次	単位		地域	地域	地域	地域	
1次	2次	名称	活動事業数	計画値				
1次	2次	補足		実績値	8	9		
1次	2次	単位		事業	事業	事業	事業	
2次	2次	名称		計画値				
2次	2次	補足		実績値				
2次	2次	単位						

活動指標とは、実施した事業内容を表すもの。1つ以上設定。例)①研修開催回数、②駐輪場整備進捗率、③計画策定  
 1次成果指標とは、事業を実施したことによる直接関係する成果を表すもの。1つ以上設定。事業完了翌年度に成果が現れる場合は、指標名称を(括弧)書き。  
 例)①研修参加人数、②整備による駐輪可能台数、利用台数、③(計画策定後の事業展開数)  
 2次成果指標とは、事業を契機に発生する成果で、事業の本当の目的に関する指標。できれば設定。例)①研修後の資格取得者、②放置自転車減少数

## H22年度 事業評価シート兼主要施策成果報告書

計画コード	事業名	部名	市民部
19039	地域づくり支援事業	室名	市民相談協働室

※予算／事業名は、上の事業名と異なる場合記入

成果報告	予算／大事業名					
	予算／中事業名 ※					
		予算額 (円)	決算額 (円)	翌年度繰越額 (円)	不用額 (円)	決算書掲載
	当年度事業	3,435,000	2,319,242		1,115,758	83 ページ
	当年度への繰越事業				ページ	

市内評価		実施	H 23 年 4 月 28 日
①目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	事業実施成果	<p>昨年に引き続き、昼生地区と北東地区(井田川北・井田川南・川崎)の実行組織による地域ビジョンに基づく事業に補助金を交付した。</p> <p>また、新規取り組み地域については、亀山地区コミュニティ連絡協議会、亀山市自治会連合会、野登、北東、神辺、新所、関中央、関南部、木崎、泉ヶ丘・富士ハイツの各地区コミュニティに対し、地域づくり支援事業について説明を行い、取り組みの推進に努めたが、制度の活用までは至らなかった。</p>
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③投資効果	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
④最終確認者	担当部長		
		反省点・課題	<p>より活用しやすい補助制度として対象事業を拡大しPRに努めたが、新規申請団体は無しであった。</p> <p>制度を利用し活動を推進する地域の事例を紹介しながら、制度活用のメリットを発信する必要がある。</p> <p>成果指標での活動を展開する地域数について、当初計画は8地域であったが実績では4地域であった。</p>
		改善の方向性	<p>引き続き、市長マニフェストに掲げる、その地域の判断と責任で課題解決を図る「地域予算制度」のあり方を研究するなかで、方向性を見極めていく。さらに、より多くの地域が制度を活用できるよう説明を行う。また、支援期間を終えた地域が、引き続き地域の力で事業に取り組んでいるか見守り確認する。</p>

外部評価		実施	H 年 月 日
①事業の評価結果	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全体評価	
②事業の課題	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③事業の改善方向	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
④投資効果	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		